

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年2月9日 No. 12

魅力いっぱいのビキニデーに参加しよう

核兵器廃絶の上げ潮の流れつかみ、3・1ビキニデーの圧倒的成功を

代表派遣 200 人を必ず - 東京

東京原水協は2月7日、「ビキニデーから広島・長崎、2010年ニューヨークへ 東京原水協学習と交流つどい」をけんせつプラザ(東京土建会館)で開き、70人が参加しました。

冒頭、記録映画『ヒロシマ・母たちの祈り』を鑑賞し、日本原水協の高草木博事務局長から講演がありました。高草木事務局長は、2月5、6日に開かれた日本原水協



第81回全国理事会で2010年にむけて草の根の活力が示されたこと、オバマ新大統領当選から核保有国イギリス、ヨーロッパ最大の米核貯蔵地ドイツなどでも核兵器廃絶に呼応するという大きな変革の流れが世界に広まっている中で、被爆国日本を動かすことが必要だと述べました。そして、署名と被爆の実相普及は車の両輪として運動を広げ、3・1ビキニデーに結集させようと呼びかけました。

各地域・団体の運動交流コーナーでは、新婦人や地域原水協のとりくみの発言のほか、都学連や和光大学、埼玉高校生平和ゼミナールなどの青年も積極的に発言しました。

東京原水協の石村事務局長はまとめの中で「現在84人がビキニデー参加を決めているが、すべての地域・団体から必ず1人、2人と出して、200人を目指そう」と訴えました。

日本原水協第81回全国理事会ひらく



日本原水協は2月5、6の両日、第81回全国理事会を平和と労働センター・全労連会館でひらき、役員、46都道府県、19中央団体から代表128人が参加、2009年度の活動方針を決定しました。NPT再検討会議までの14ヶ月、「核兵器のない世界を」署名を中心に旺盛な活動をすすめ、核兵器廃絶の展望を切り拓く諸活動に全力でとりくむ決起の会議となりました。

故松井康浩代表理事をはじめこの間亡くなられた方々を偲び全員で黙祷をおこなった後、大黒作治代表理事の挨拶を受け、続いて高草木博事務局長から「2009年度運動方針」の報告・提案がありました。

討論では、核兵器廃絶をめぐる世界の情勢が、上げ潮となっていること。こうした変化を確信に多様で多彩な署名運動が全国各地でとりくまれている状況がリアルに報告されました。新署名の取り組みとして、日本平和委員会が会員一人20筆、全労連が106万枚の署名を全県に下ろす準備をしていること、自治労連が組合員一人5筆以上、100万筆が目標で具体的な集約テンポにもふれるなど、中央団体が具体的方針をもってとりくむ決意が述べられました。